

● フランス——事例1 風邪を引いたようです。朝起きたら熱が38度、喉が痛く咳も出ます。

	A	B	C
基本属性	地域	大都市	大都市
	性別	女	女
	年齢	86	87
	暮らし方	ひとり暮らし	ひとり暮らし
	職業	元保育士	元夫稼業手伝い
	職業	無職	
回答	①医療機関等へ行く	②薬を買いに行く	①医療機関等へ行く
①医療機関等へ行く	医療機関等の種類	かかりつけ医(近所の開業医)	近所のかかりつけ医
	アクセス方法	徒歩2分	徒歩5分
	診療を受けるまでのプロセス	待合室で10~15分位待つ。	待ち時間20分
	治療内容と時間	問診、聴診、検温、血圧、触診、喉や耳を診るなどで15分位。その後検査や薬剤の指示。	血圧、耳鼻喉を診る。聴診等。診療時間20分。
	治療費	約2,500円(公定診療報酬)を支払い後日保険(強制加入)から7割返金。残りの3割(公定自己負担)は民間保険(任意加入)から返金。	約2,500円。後日保険から返ってくる。
	薬の種類と金額	大したことなければ手持ちの解熱剤や咳止めシロップ等を飲む。39度以上あれば医師の処方する薬を薬局で買って飲む。	2~3種類(処方箋保険薬であれば)。保険から薬局に直接支払いのため、自己負担なし。
	帰宅後の過ごし方	寝込まず外へ出かけて活動的に過ごす。	普段と同じ。
②薬を買いに行く	医療機関等へ行かない理由		3日以上たっても良くならなければ医者に行くが、出来るだけ自力と薬で治す。
	購入の場所とアクセス方法		薬局(徒歩)
	薬の選択方法		薬局の薬剤師に聞く。
	薬の種類と金額		解熱剤、咳止めなど(1,600円位)
	購入後の過ごし方		温かくして寝る。
③どこにも行かない	医療機関等へ行かない理由		
	薬を買いに行かない理由		
	家での過ごし方		
④その他	具体的にとる行動とその理由		

▶ あなたはどう行動しますか？



D	E	F	G
大都市	地方	地方	大都市
男	女	男	女
60	75	74	70
妻と2人暮らし	夫と2人暮らし	妻と2人暮らし	夫・子ども2人と4人暮らし
マンション管理人	主婦	元飛行機工場勤務	主婦
③どこにも行かない	①医療機関等へ行く	③どこにも行かない	①医療機関等へ行く
	かかりつけ医		公立病院の担当医（ガンの手術を受けた）
	車で15分		地下鉄とバスで1時間位
	待ち時間15～20分		予約制だが混んでおり、20～30分位待つ。
			診察後に検査。その日より異なる。
	約2,500円。後日7割が保険から返金。3割が民間保険から返金。		公立病院なので自己負担なし（保険から直接支払われる）。
	3種類位。自己負担なし。		6種類+その時による。
	家事等は普通にするが、昼寝や休憩をする。		普通に過ごす。
普段通り元気にしていれば、そのうち治ってしまうから。		医者に行かなくても治ってしまう。	
何もしない。			

● フランス—事例2 慢性的な腰痛が悪化して痛みが強くなってしまいました。

	A	B	C
基本属性	地域	大都市	大都市
	性別	女	女
	年齢	86	87
	暮らし方	独り暮らし	独り暮らし
	職業	元保育士	元夫稼業手伝い
	職業	無職	
回答	①医療機関等へ行く	②薬を買いに行く	①医療機関等へ行く
①医療機関等へ行く	医療機関等の種類	かかりつけ医(近所の開業医)	近所のかかりつけ医
	アクセス方法	徒歩2分	徒歩5分
	診療を受けるまでのプロセス	待合室で10~15分位待つ。	待ち時間20分
	治療内容と時間	問診、聴診、検温、血圧、触診等で15分位。その後検査や薬剤、リハビリマッサージ処方 の指示によりリハビリ師に通う(処方の場合は保険適用)。	診療時間20分 その後リハビリ、マッサージに通う(処方の場合は保険適用)。
	治療費	約2,500円(公定診療報酬)を支払い後日保険(強制加入)から7割返金。残りの3割(公定自己負担)は民間保険(任意加入)から返金。	約2,500円。後日保険から返ってくる。
	薬の種類と金額		2~3種類(処方箋保険薬であれば)。保険から薬局に直接支払いのため、自己負担なし。
	帰宅後の過ごし方	家にあるホメオパシーを適宜服用	
②薬を買いに行く	医療機関等へ行かない理由		3日以上たっても良くならなければ医者に行くが、出来るだけ自力と薬で治す。
	購入の場所とアクセス方法		薬局(徒歩)
	薬の選択方法		薬局の薬剤師に聞く。
	薬の種類と金額		湿布、抗炎症軟膏等
	購入後の過ごし方		温かくして寝る。
③どこにも行かない	医療機関等へ行かない理由		
	薬を買いに行かない理由		
	家での過ごし方		
④その他	具体的にとる行動とその理由		

▶ あなたはどう行動しますか？



D	E	F	G
大都市	地方	地方	大都市
男	女	男	女
60	75	74	70
妻と2人暮らし	夫と2人暮らし	妻と2人暮らし	夫・子ども2人と4人暮らし
マンション管理人	主婦	元飛行機工場勤務	主婦
③どこにも行かない	①医療機関等へ行く	①医療機関等へ行く	①医療機関等へ行く
	かかりつけ医	かかりつけ医	公立病院の担当医（ガンの手術受けた）
	車で20分	車で20分	地下鉄とバスで1時間位
	あまり待たない。	待ち時間は朝ならあまりないが、午後なら10分位	予約制だが混んでおり、20～30分位待つ。
	触診後リハビリのマッサージを指示される。20分ほど。	触診後おそらくリハビリの所でマッサージを受ける指示の処方が出るので通う。	診察後に検査。その日により異なる。
	約2,500円	約2,500円	公立病院なので自己負担なし（保険から直接支払われる）
	抗炎症剤など2～3種類	軟膏や抗炎症剤を3種類位。	6種類+その時による。
			普通に過ごす。
普段通り元気になれば、そのうち治ってしまうから。			
何もしない。			

フランスの高齢者医療制度

フランスの医療制度は、大きく分けて病院と町の開業医とに分類される。更に前者は公的病院と、民間(営利・非営利)のクリニックがある。どちらにおいても年齢による医療費の差異はなく、乳幼児も高齢者も外来は原則3割自己負担である。

普段フランス人は、まず町の開業医である「かかりつけ医」(Le médecin traitant)を受診し、更に必要があるとみなされた場合、紹介された専門医や病院で受診する。このかかりつけ医制度は、2004年7月1日に法制化され、翌年1月1日から施行された。イギリスのゲート・キーパー制度に倣って創られた患者の重複受療(診察や検査、薬剤の重複等のいわゆるドクター・ショッピング傾向)を制御する目的で導入された制度である。

イギリスでは、「かかりつけ医を住居地区のGP医の中から選択し登録。」「逸脱受診(=かかりつけ医を経由せず直接、専門医や病院に受診する等)は、主として税で賄われている公的医療制度(National Health Service)が使えない。」のに対し、フランスの独自性は、「専門医・病院勤務医も含める医師の中から、患者が自由意思で選択し登録。」「逸脱受診の場合も、保険償還率が多少悪くなるという経済的ペナルティはあるものの、公的保険が使える。」点である。また産婦人科、眼科、精神科等の例外措置(かかりつけ医を通さず、直接専門科医に受診しても良いケース)もある。

2005年の制度施行以降70%以上の国民はこの受診行動を守っていて、まずかかりつけ医にかかり、検査や薬剤、リハビリ・マッサージ等に代表されるパラメディカル施術を処方され、そこで治療が終わらない人だけが次の受診へと進む。

今回の高齢者インタビューで得られた回答からも、このかかりつけ医への信頼は高いものがあったが、その一方で、「1～2週間以上経過しても、どうしても治らない時だけ医師にかかる。すぐにはかからない。」との様子見派が多かった。またインタビューでよく出てきた腰痛時のマッサージにはいろいろなタイプがあり、医師が処方する理学療法士によるリハビリ・マッサージは医学上の必要と考えられ、保険適用となる。

一方、代替医療的なオステオパット(整骨・整体師のような資格。)によるマッサージは私費となり、自由報酬のため幅があるが1回30分～1時間、約5,500～10,000円辺りが相場のようなようである。

薬剤も医師の処方する保険薬を購入する場合は保険適用となるが、インタビューに出てくる「薬剤師に聞いて解熱剤や咳止めなど(OTC薬品)を買う。」や民間療法でフランス人に人気のある「ホメオパシー」等は、私費となる。日本の漢方薬的な存在である「ホメオパシー(=同毒療法)」は、医師の処方による場合でも科学的根拠不足から保険は認められていない。



フランスの医療機関は救急を除き予約制であるため、インタビュー回答での待ち時間も平均10分程度とそれほど長くなかった。特別な医師回避理由は無くとも、風邪や腰痛等の軽度の症状では、積極的に医師にかかる傾向はないようである。

インタビューの条件として提示された38度の発熱は、「熱」の内に考えられておらずむしろ平熱。これを「39度」に言い換えると、初めて感覚的に「熱」と捉えていたのが印象的であった。日本人はフランス人よりも低体温なのだろう。



インタビュー実施時(2010年11月)の制度では、公的診療報酬は外来診察が初診・再診に関わらずGPが約2,500円、専門医が約3,000円であり、このうち公的保険から7割が償還される。

残りの3割が自己負担になるが、フランス国民の8割以上が任意での補足保険にも加入しており、自己負担分もこちらからの償還を受ける事ができるため、多くのフランス人は「医療費は、(毎月の保険料はあるにしても)タダ」と思いがちなふしがある。



補足保険は、任意とはいえ企業や団体に就職するとほぼ自動的に加入させられる、言わば組織の福利厚生オプションのような形である為、被用者であれば一階(公的保険)、二階(補足保険)の両方に加入している人が圧倒的に多い。

その場合は団体料金のため月当たりの負担もそれほど重くなく、契約タイプにもよるが、約5,500円前後の商品が平均的商品であろう。「眼鏡」「歯科治療」は公的保険からの償還率が悪い為、この任意の補足保険に頼る事になる。


二階建ての二階部分の保険を更に大きく分けると二種類あり、「ミューチュエル」と呼ばれる(日本語でよく共済と訳されている事が多いが、日本の「共済」とは異なる。)非営利型の保険と、民間保険会社による営利型の保険(より貯蓄性の高い金融商品)とがある。一般的に団体加入では、前者の非営利型の「ミューチュエル」商品が多い。

一方、少数派ながら存在する補足保険未加入者は、自営業、収入不安定、家族のいない単身者、健康や医療費自己負担額にまだ不安を感じない世代、というようなイメージを抱いて頂ければよいのではなかろうか。



度重なる医療保険改革によって、公的保険からこの補足保険への医療費支出の移行が進んでおり、二階建ての二階部分である「任意」の「補足」保険が、既に事実上の「ほぼ強制的」な「補完」保険となっている。





外来診療は3割自己負担が原則ではあるが、ALDと呼ばれる国が指定する31種の慢性疾患群の患者である場合は、やはり年齢に関わらず自己負担は無く、当該疾患関連の医療費が無料となる。

ALDは日本で言う難病指定ではなく、「長期に治療が必要な疾患群」で、例えばインシュリン依存型の糖尿病、がん、慢性腎不全、ALS、エイズ等がある。

今回のインタビューにも答えていたガンの手術を受けた女性(術後5年)はこの制度に該当しているが、医療については先進国の中でも非常に手厚い保険を持つ国であると言えるのではなかろうか。

「健常人の医療費には、自己負担や受診アクセス等にある程度節度を持たせ、生命維持に本当に必要な人の医療費は無料」という公的保険の背景にある哲学が見えてくるようである。

●

介護手当については、日本の5段階要介護認定評価や自治体による管理など酷似点があるものの、日本の「介護保険」制度の方が多くの点において(公平性、財源の確実性、支給額、ケア・マネジャーの存在)優れていると言えよう。

フランス国立統計経済研究所のデータによると、フランスの平均的な年金受給額は、2007年では約120,000円/月である。

一方、最重度者の介護手当は最高約133,000円/月(2010年)である。フランスの物価は、日本とそれほど変わらない点から考えても、これらの額で十分な介護費用をカバーするのは極めて難しく、少なからぬ自己負担が前提となる。

サルコジ大統領はフィヨン第二新内閣発足TV演説で、「介護手当の皆保険化」への意思を表明したが(フランス語では、この新保険を5番目のリスク《福祉や自己責任ではなく、誰にもいつかは降り下りてくるリスクの意味。因みに他の4つは、疾病、老齢、事故、マタニティ》と表現する。)前途多難な模様。

国民の意見も大きく二つに分かれていて「国民連帯」によって介護費用を負担する事を支持する派と、「自己責任」を支持する派である。国の社会保障赤字削減が大きな課題である一方で、大統領公約であったアルツハイマー・プランや15,000人の高齢者死亡を出した2003年の猛暑が、国民の脳裏に記憶されているため議論はなかなか決着を見ない。

大統領筋に近い保険会社ロビーは、「運転するならば絶対に加入する自動車保険のような自己責任」の保険を提案している。

●

40歳から加入する日本の介護保険は、「自分が身近な問題として関与する年齢になる頃から」スタートする訳であるが、「連帯」と「自己責任」の中庸とも取れる制度設計である。フランスの

介護専門家達は、「世界中で、日本がお手本。」と異口同音に言う。そこに儒教的敬老精神や大家族（核家族でなく世代間同居）の背景があるのではと質問されるが、果たして今日の日本にそれが当てはまるのかどうか、私はいつも答えに窮する。



●

結果論者的にアウト・カムからだけで見れば、日本の平均寿命は男性79.6歳、女性86.4歳、フランスの平均寿命は男性77.8歳、女性84.5歳と、女性は堂々の世界第一位と第二位。

両国とも女性高齢者がお元気である事は間違いないようである。

奥田七峰子

日本医師会総合政策研究機構フランス駐在研究員

【フランス医療制度】

URL: <http://naoko.okuda.free.fr>

email: naoko.okuda@gmail.com